

3号機蒸気式空気抽出器用安全弁の点検結果について

3号機は原子炉起動中ですが、平成17年3月9日、タービン建屋1階において、主復水器^{*1}内の空気を抽出し、真空を維持するための蒸気式空気抽出器^{*2}用駆動蒸気配管に設置された安全弁^{*3}に不具合があり、本来流れない蒸気が主復水器内へ流れていることを確認しました。

そのため、起動操作を中断し、安全弁の状態確認を実施していましたが、状態が改善されないことから、原子炉の出力を低下させ、主復水器の真空状態を大気圧に戻し、当該弁の手入れを行うこととしております。

(平成17年3月10日お知らせ済み)

調査の結果、当該弁の弁体ナットの緩みを防止する固定ビスの廻り止めが緩くなり、プラント運転時の振動によりビスが外れ弁体に挟まったことから、蒸気が漏えいしたものと推定いたしました。

そのため、当該弁のビスを新品と交換し、廻り止めを実施いたしました。また、安全弁を分解点検する際には、ビスの廻り止めを確認するよう要領書に反映いたします。

なお、念のため、当該配管に隣接して設置されている同型の弁についても点検を行い、異常のないことを確認しております。

今後、準備が整い次第起動操作を再開し、その後、当該弁の健全性の確認を行います。

以 上

* 1 主復水器

タービンを回した蒸気を海水により冷却し水に戻す機器。

* 2 蒸気式空気抽出器

復水器の真空維持のため、主蒸気等を駆動源として速い流れの蒸気を噴射し、発生した圧力差で復水器内の空気を抽出する装置。

* 3 安全弁

当該配管の圧力が高くなった場合に動作して減圧させるための弁。

